

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	気仙沼市マザーズホーム			
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 17日 ～ 令和 7年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30家族	(回答者数)	28家族
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 1日 ～ 令和7年 3月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数)	2人
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 1月20日 ～ 令和 7年 2月 8日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	22施設35人	(回答数)	26施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・施設（利用者）に対しての適切な助言が出来たと思います。	・事業内容の周知 （事業内容を保護者や訪問先へ説明を心掛けました。）	・事業所間での職員の情報共有を十分に図り、質の向上に取り組めます。 ・発達障害者地域支援マネジャーから助言や指導を受け支援の充実を心掛けます。
2	・相談支援事業所からの信頼事業もあり、相談支援専門員からの周知で希望者が増加しています。	・報告書提出（訪問先・保護者に対し同じ内容の報告書を渡すことで情報共有がはかれたと思います。 ・当施設を利用している保護者には、口頭での説明も合わせておこなっています。 ・関係機関との情報共有や連携を心がけています。	・訪問先での利用者の支援内容を理解した上で一緒に支援していけるよう心がけていきたいと思います。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者が増えたことで職員の訪問回数が月1度(2回の訪問が難しい状態)です。	訪問先と訪問時以外に情報共有を行う時間が短かったと思われます。	保護者の要望と訪問先の職員との事前会議を通して、必要性を判断し、必要な期間、回数を決定していきます。
2	報告書提出方法について（次回の訪問に合わせて手渡ししているため、報告が遅くなります）	記録を作成して保護者と訪問先にお渡しする事は事業を開始する時に説明させていただいていましたが、渡し方についてまで細かな話し合いが出来ていませんでした。	個人の記録なので、渡し方に配慮していたため記録が遅れてしまっていた。（担任の先生に手渡し）送迎時でも可能かどうか確認して記録を早い時期に渡せるようにしていきます。
3			